

♪「花とアコーディオン コンサート」ぶらり訪問記♪

日時 2011年9月23日(金・祝)

会場 千葉市花の美術館・モネサロン前

演奏 千葉アコーディオンサークル

花の美術館から徒歩 2 分ほどで海水浴の
のできる海岸(下の写真、家族で遊ぶ姿が



見られた)に出ます。そんな場所なので会場の周辺では 3 月の震災の爪あとを見ることが出来ました。美術館と駐車場の境に段差が出来 30センチ以上地盤沈下した駐車場が当時のままの姿で残っていました。

今回は紹介する機会の無かった千葉県「稲毛駅」近くで練習しているアコサークルのコンサートの様子です。(右上の写真はステージ前のフラワーアレンジの一部)

午後 1 時半、全員合奏『秋のメドレー』と『山小舎の灯』で始まり、次に 6 人のアンサンブルによる『碧空』、そしてソロで『パリの空の下』『ジブシーの嘆き』と続き、再び合奏『虹の彼方に』『リベルタンゴ』、またソロ



で『枯葉』(枯葉は演奏者の編曲でした)『花のワルツ』と続きます。次の合奏『すみれの花咲く頃』はどなたのアレンジか素敵な編曲だったので、終了後指揮者で講師の方にお聞きしたところ吉田親家氏の編曲で、了解を頂いて使わせていただきましたとおっしゃっていました。再び 6 人でのアンサンブル『サントワ・マミー』、エンディングは全員合奏『サウンド・オブ・ミュージック メドレー』『夏の思い出』でした。

親しみのある曲ばかりのプログラムなので、美術館内のギャラリーを見学しながらふと足を止めて聴き入るお客さんがいたり、50 席ほど用意した椅子では足りず周りの壁に寄りかかって聴く人、ギャラリー前のベンチで聴く人たちで一杯でした。演奏では、みなさんととも音が太くしっかりしていてそれでいて優しい素直な音色なので聴いていてとても心地のよい演奏でした。下の写真は、エンディングの演奏の様子。[指揮(講師):森 陽介氏](乙津・記)



